



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

『身近な人権課題』(人権教育講演会 竹上精一先生のお話より)〈文責：齋藤徳三〉

まず、「いじめ」についてお話されました。

「学校や教室は安心して過ごすことができる場所であることをみんな願っているのに、いじめはその願いを壊しているからだめです。」

「他人事を自分事にしていなければいじめや差別はなくならないのです。」

〈黒人差別〉や〈LGBTQ 当事者の方への差別〉、〈部落差別〉についてもお話されました。

「自分の生まれ(人種・性・障がい・場所 等々)は選べない。自分で選べないことについて差別されているわけがありません。」

「いじめや差別を自分事として考えることが必要です。」

「いじめや差別がない世の中は、誰かが作ってくれるのではなく、自分に責任があります。そのためには、学ぶしかありません。学ぶのみです。」

「いじめや差別をなくするために、一人で闘うのは難しいので、いじめや差別をなくする仲間を増やしていくことが必要です。」

全ての言葉が心に響きました。学校では子どもたちとともに、人権・同和教育を行っています。教職員も研修を行っています。それぞれの会社や職場、地域でも、人権課題解消に向けて学ぶ機会があると思います。できる限り参加して、みんなでいじめや差別のない社会を創るために、自分にできることに、多くの仲間とともに取り組みたいと強く思いました。

竹上精一先生、ありがとうございました。また、お忙しい中大変多くの保護者の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。



集団宿泊学習



5年生が、宿泊学習を塩江で行いました。9月に入っても続いていた暑さが少し落ち着き、比較的涼しい状態に恵まれた中で行うことができました。

スタートは恒例の【アマゴつかみ】からでした。清流の女王と呼ばれるアマゴですが、ここでは、水深30cmくらいのプールで行います。泳ぎ回るアマゴを軍手を履いた手でつかみ、棒で叩いてしめ、ひれに塩を付けて竹串を突き刺し、炭火で焼きます。ワイルドなアマゴの塩焼きをおにぎりとともに頂きました。

【コースター作り】色とりどりのタイルを使って自分だけのコースターを作りました。使わずに飾っておきたい出来栄の作品ばかりでした。夕食の【カレー作り】は、班で分担して切った肉・じゃがいも・人参・玉ねぎを大きな鍋に入れ、ルーを入れて作りました。ご飯は飯盒で炊きました。【キャンプファイヤー】の前に雨が降り、どうするか迷いましたが、一生に何度もするわけではないキャンプファイヤーをぜひ体験してもらいたいと思い実施しました。キャンプファイヤーの達人の小山雅史さん(ニックネームは村長)のご指導の下、火の神を迎えての厳粛なセレモニーを行い、その後は、歌いまくり・踊りまくりました。子どもたちも班ごとにスタンプをがんばりました。最後は火がだんだんと小さくなり、真っ暗な中みんなで火を見つめ、友達のことや家族のことを静かに考え、素敵な時間を過ごしました。【グランドゴルフ】はかなり苦戦していましたが、自分たちでオリジナルルールも作りながら、仲よく活動できました。【ピザ作り】は思ったよりも簡単で、とてもおいしかったです。



宿泊学習は、クラスの仲間と「寝食をともにして」学ぶ学習です。家族や親戚の人と一緒に泊まった経験はあるかもしれませんが、クラスのみんなで、お家の人がいらない状況で、家から遠く離れた所で泊まるのは初めての体験でしたが、5年生の子どもたちは、今回のテーマでもある《自律と和》を実践し、自分のことは自分でしっかりと行い、仲間と仲よくすることができました。

子どもたちは、宿泊学習という大きな山を仲間とともに登り切りました。山を登ると、山の下では見えなかった景色を見ることができます。子どもたちの目には、どんな景色が映ったことでしょうか。半年後には6年生になるという景色(目標)が見えたかも分かりません。また一つ逞しく成長したと感じました。